# 2026 年度

# 社会福祉学科

# 総合型選抜入試課題

次の**課題 A～C から１つ**を選び、800 字以内で述べてください。

注意事項

〇手書きの場合

指定された**「課題レポート記入用紙」**に記入してください。

〇パソコンで作成する場合

Windows で扱える文書ファイル（Word 等）で作成し、Ａ４縦用紙に横書きする。ただし、行・文字数、間隔等の指定は特にありません。

**※希望学科、選択した記号（A～C)、氏名の記入を忘れないでください**

**課題 A**

# 長崎県の健康づくりアプリ「歩こーで！」好調　運動意欲向上に一役

長崎県が 2023 年から配信する健康づくりアプリ「歩こーで！」が好調だ。5月30日までに7万9千ダウンロード（DL）を超え、当初の目標を上回るペースで推移。県民の運動意欲向上に一役買っている。一方、県が掲げる「健康寿命日本一」の目標達成の道のりは険しく、試行錯誤が続く。

アプリは 2023 年2月に配信開始。毎日の歩数や消費カロリーを表示し、歩数などに応じて付与されるポイントは、協力店などのサービス提供に使える。昨年度は毎月平均2千DLで推移し、昨年 11 月に年度目標の7万DLを突破。本年度は新たに9万 5400DLを目標に据えた。

今年2月末時点のDL者数を年代別にみると、50 代が最多で、60 代、40 代と続く。いずれの年代でも女性の割合が高い。20、30 代の男性は比較的伸び悩み、今後の課題だ。

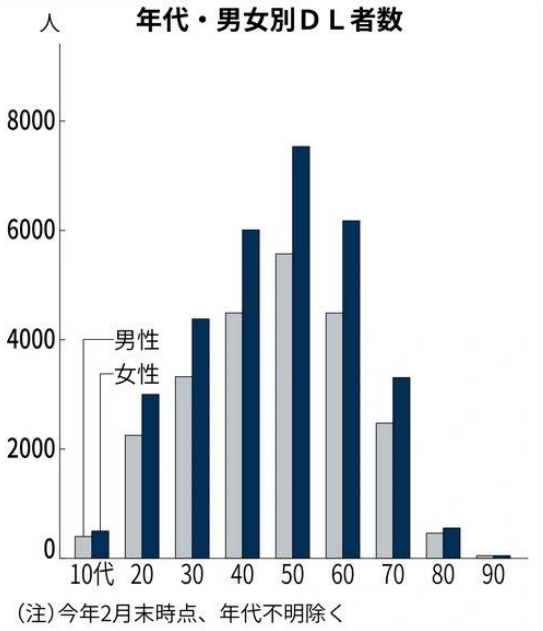
DL者を対象にしたアンケートでは、回答者の半数以上がアプリによって「歩数が増えた」、3割以上が「外出の機会が増えた」と回答。県国保・健康増進課によると、配信開始から1年で、利用者の1日当たりの歩数が平均 300 歩増えたというデータもあり、運動意欲向上に一定の効果が見られる。

県は 2018 年から「健康寿命日本一」を掲げ、運動、食事、健診を柱とした施策を推進。2022 年からは禁煙も加えた。同課によると、本県は県民の血圧が全国と比べて高く、循環器系疾患や糖尿病などの罹患（りかん）者が多いなど生活習慣の改善が課題。特に 40～50 代の世代へのアプローチを重視する。アプリの利用者は、このターゲット層とおおむね一致することから、健康イベントの周知やアンケート機能による施策の効果検証にも役立てる考えだ。

県が「日本一」の目標を掲げた 2018 年以降、健康寿命の全国順位に目立った躍進は見られない。昨年 12 月に厚生労働省が公表した最新調査では、2022 年の本県の健康寿命は男性が 72.24 歳で全国28位、女性が 75.32 歳で全国 32 位といずれも低位にとどまった。

ちなみに 2022 年の健康寿命が男女共に全国1位だったのは静岡県。同県は理由として▽地場食材が豊富で食生活が豊か▽日頃からお茶をたくさん飲む▽温暖な気候からくる穏やかな県民性ーなどを挙げた。本県の担当者は「長崎にも共通点は多い。庁内や市町と連携し、多様な施策を打つことで、県民の健康増進につなげたい」とする。

※健康寿命：健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間の平均のこと。




**本県健康寿命の推移**
カッコ内は全国順位

| | 2013年 | 16 | 19 | 22 |
|---|---|---|---|---|
| 男性 | 71歳（29位） | 71.8（30） | 72.3（34） | 72.2（28） |
| 女性 | 73.6歳（40位） | 74.7（28） | 75.4（29） | 75.3（32） |

【2025 年 6 月 4 日　長崎新聞より抜粋】

**問題**

**上の記事を読み、長崎県が掲げる「健康寿命日本一」の目標を達成するために、あなたがスマートフォンのアプリを開発するならどのようなアプリを作るか。目的と理由を明確にした上で、800 字以内で述べてください。**

課題 B

# 孤独死防ぐ「見守り」利用、10～50 代で 14 倍に 現役世代の懸念

孤独死を防ぐ活動を続ける NPO 法人が提供している見守りサービスの利用者が急増している。10～50 代は 5 年前の 14 倍に。専門家は、現役世代は高齢者にはない孤独死のリスクがあると指摘している。

サービスを提供しているのは東京都江戸川区の NPO 法人「エンリッチ」。次のような仕組みだ。利用者が決めた頻度で「お元気ですか」と LINE でメッセージを届ける。利用者は「OK」ボタンをタップして返答するが、その後も反応がない場合、本人に直接電話をしたり近親者に知らせたりする。安否確認を続けることで、死亡者を早期に発見する狙いがある。

きっかけは、代表理事の紺野功さん（65）が 10 年前、弟（当時 51）を孤独死で亡くしたことだ。2018 年 11 月からこのサービスを始めた。

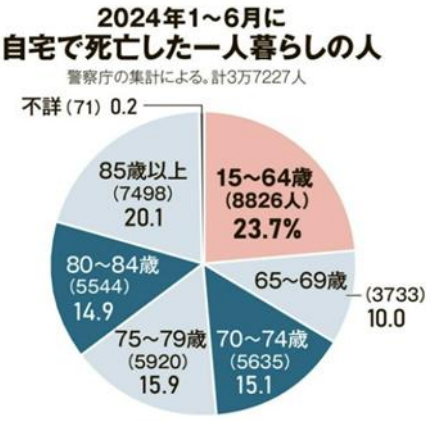
利用者は 19 年に延べ 622 人だったが、24 年には 1 万 3836 人と急増。年齢を登録する 6776 人（24 年）のうち、10～50 代は 4378 人で 6 割超だった。19 年の 10～50 代の利用者数は 303 人で、24 年までに 14 倍になった。

紺野さんは「親族や大家に迷惑をかけたりペットが置き去りになったりすることを心配する声がある」と話す。若い世代の利用者が増えていることについて、近隣や職場での人間関係の希薄さや、頼れる人が少なく孤立した状態にあることが背景にあるとみる。

警察庁が昨年 8 月に発表した集計では、全国で昨年 1～6 月に自宅で一人で死亡した「孤独死」は 3 万 7227 人。このうち 15～64 歳の「現役世代」は 8826 人で約 24%を占めた。

孤独死に詳しい日本福祉大の斉藤雅茂教授（社会福祉学）は、現役世代には特有のリスクがあると説明する。ヘルパーなどが身近にいる高齢者とは違い、現役世代は変化が気づかれにくい。特に人間関係が希薄な場合、住環境の悪化など目に見える異変がないと、不審に思われにくいという。

斉藤教授は「孤独死は高齢者だけの問題ではない。生前の社会的孤立そのものが問題だという共通認識を深めていく必要がある」と指摘している。




【2025 年 2 月 9 日 朝日新聞デジタルより引用】

**問題**

**上の記事を読み、現役世代の「孤独死」を避けるにはどうすればよいのか、その方法と理由を明確にした上で、800 字以内で述べてください。**

課題 C

## ホセ・ムヒカさん逝く

貧しさとは、何だろうか。いや、それを言うならばむしろ、豊かさとは何かと問うべきか。「世界で最も貧しい大統領」と呼ばれたウルグアイ元大統領、ホセ・ムヒカさんが逝った。89歳だった。

「貧乏とは少ししか持っていないことではなく、無限に欲があり、いくらあっても満足しないこと」もはや伝説である 2012 年の国連演説で、世界は彼を知った。「私は質素なだけで、貧しくはない」そのことがじわりと響くのは、私たちがいま、豊かさの喪失とも言うべき時代を迎えているからではないか。日本のGDPの国別順位は下がり、成長は足踏みが続く。社会全体が小さく縮みつつあるなか、富裕というものの空虚さを、嗤（わら）いたい人は少なくないのだろう。

かたや貧しさとは「生きていく上での選択肢を奪われることだ」遺児の支援活動をする大学生の投書が、少し前の本紙にあった。やるせないのだろう。放っておけば資本主義は富を集中させる。30兆円を寄付すると発表したビル・ゲイツ氏が「私は良い手本を示したい」と唱える所以（ゆえん）である。

豊かさも貧しさも、時代によって姿を変える。20世紀の初め、貧困が飢餓と直結していたころ、河上肇は『貧乏物語』で贅沢（ぜいたく）さを論じている。「人は水にかわいても死ぬがおぼれても死ぬものである」

ムヒカさんの弁に戻ろう。「私たちは経済発展するために、この地球にやってきたわけではありません」人間の幸せとは、何なのか。深遠な問いは、いつまでも消えない。

【2025 年 5 月 16 日 朝日新聞より引用】

**問題**

**上の記事を読み、あなたが考える人間の幸せとそれを支える社会のあり方について、800 字以内で述べてください。**

# 課題レポート記入用紙

| 第1希望 | 学科 | 第2希望 | 学科 |
|---|---|---|---|

※選択した課題に○をつけること

※スポーツ特別選抜のみ第2希望まで記入可

| 課題 | A | B | C |
|---|---|---|---|

| 受験番号 | ※ 記入不要 | 氏　名 | |
|---|---|---|---|

600字

800字